

基本目標5 企画広報・助成・提言活動の推進

令和元年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
1 調査研究・企画活動の強化		
(1) 福祉問題の調査研究の計画的推進		
① 総合企画委員会や各部署における調査研究活動の推進		
ア. 総合企画委員会や各部署における調査研究活動の活性化	【各部署における調査研究活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村社協実態調査 ・市町村ボランティア関係調査 ・県・市町村への政策提言並びに課題等に関する調査 ・令和3年度に本会が創立70周年を迎えることから、記念誌「沖縄県社協70年のあゆみ（仮称）」の発刊等、70周年記念事業の実施に向けて局内及び関係者と検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署において実施した調査結果を各事業展開の基礎資料として活用することができた。 ・記念誌「沖縄県社協70年のあゆみ（仮称）」の発刊に向け、構成案を検討することができた。
イ. 県社協第4次地域福祉活動総合計画の進捗管理及び評価	<ul style="list-style-type: none"> ・総合企画委員会を開催し、「沖縄県社協第4次地域福祉活動総合計画」の平成28年度から平成30年度の3年間について中間評価を実施した。 ・中間評価を踏まえ、数値目標の見直しや今後取り組むべき課題について総合企画委員会で検討を加え、改定計画を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルに基づく計画の進捗管理と今後の各種事業の効果的な推進につなげることができた。 ・第4次計画の中間見直しを行うことで、計画の後期に取り組むべき課題や方向性を確認することができた。
2 福祉施策への提言・要請活動の強化		
(1) 福祉施策の立案・提言活動の展開		
① 予対協との連携強化をはじめとした効果的な提言・要請活動の推進		
ア. 県社会福祉施策・予算対策協議会（予対協）による調査研究、要請活動等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・6月と8月に予対協協議会を開催し、各部会での調査研究を踏まえた福祉施策・予算に関する要請書を取りまとめ、県及び市町村へ提出した。（県へ28項目、市町村へ16項目） ・「県子ども生活福祉部施策説明会」を部会分野別に開催（計4回）し、県の重点施策と各部会からの課題等について意見交換を行った。 ・県への要請活動として県知事（副知事が代理対応）と要請書を手交した。 ・糸満市議会、北谷町議会からの要請に基づき、予対協の各部会の代表団を派遣し、要請事項の参考人説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県知事、市町村長、市町村議会議長へ要請書を提出し、本県の社会福祉の実情を踏まえた政策提言を行うことができた。 ・県子ども生活福祉部との意見交換を行うことで、福祉現場が抱える課題の共有と各種施策等の効果的な要請につなげることができた。 ・議会委員会への参考人説明を通じて、各議員へ施策・予算の重要性を訴えることができた。
② 県等の各種審議会・委員会への参画を通じた政策提言		
ア. 県等の各種審議会・委員会等への参画を通じた政策提言	<ul style="list-style-type: none"> ・「県振興審議会」、「県社会福祉審議会」、「県子どもの未来県民会議」、「県障害者施策推進協議会」等の各種審議会・委員会・会議等へ役職員が委員として参画し、福祉課題等への対応策等の政策提言を行った。 ・各種会議における政策提言に際し、局内から広く意見を集め、提言内容を取りまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議等において福祉現場の現状や課題を踏まえた提言を行うことで、意見反映させることができた。

令和元年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果																
3 広報・啓発及び情報提供機能の強化																		
(1) 福祉に関する広報・啓発及び情報提供																		
① 広報誌・ホームページ・各種大会・社会福祉ライブラリー等を通じた情報発信の強化																		
ア. 第62回沖縄県社会福祉大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 『第62回沖縄県社会福祉大会』の開催 期日：10月9日 会場：沖縄コンベンションセンター 来場者数：約1,500人 表彰：県知事表彰43人、6団体 大会長表彰226人、3組、17団体 記念講演：演題「県民一人ひとりが作る地域共生社会について」講師 市川一宏氏 	<ul style="list-style-type: none"> 記念講演や大会宣言文の決議を通じ、生活困窮や社会的孤立等の社会問題解決に向け、協働して取り組むことについて情報発信することができた。 THANKS（サンクス）運動が掲げる「地域の人々が明るいネットワークを築き、支え合う社会を目指して」を大会サブタイトルとする とともに、本運動のパネル展示や本資料への資料掲載等を行うことで、県民に対し本運動の周知を図ることができた。 																
イ. 「福祉情報おきなわ」の発行	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌「福祉情報おきなわ」(A4判、12頁)を年6回、各5,000部(9月号は6,500部)発行し、本会の事業をはじめ、県内の福祉活動等に関する情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉関係者や団体及び企業への広報誌の配布を積極的に行い、本会が推進する事業の周知が図られた。 広報誌を通して、福祉関係者をはじめ県民に対し、福祉関連情報を発信し、福祉に関する啓発が図られた。 																
ウ. ホームページを通じた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ホームページで本会事業の広報や関連機関等のイベント情報を発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> 県民や福祉関係者に対し、福祉関連情報の提供を行い、福祉に関する啓発が図られた。 																
エ. 社会福祉ライブラリーの充実強化	<ul style="list-style-type: none"> 本会ホームページや文書において県民や入居団体から新刊図書購入希望を受け付け、蔵書の充実を図った。また、かみざと社会福祉研究所より1,400冊の図書の寄贈を受け、蔵書の充実を図った。 かりゆし長寿大学の学生を対象にライブラリーの利用説明を実施し、登録利用者の増加に努めた。 本会ホームページにおいて書籍紹介等の情報提供を行い利用促進を図った。 センターや県立図書館へ利用案内のチラシを配布し、利用促進を図った。 <p>【福祉ライブラリーの運営実績】</p> <table border="1" data-bbox="440 1377 900 1554"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>福祉図書 貸出件数</th> <th>新規利用 登録者数</th> <th>蔵書・資料 総冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>784件</td> <td>173人</td> <td>13,763冊</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△192件</td> <td>△26人</td> <td>1,994冊</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>976件</td> <td>199人</td> <td>11,769冊</td> </tr> </tbody> </table>	年度	福祉図書 貸出件数	新規利用 登録者数	蔵書・資料 総冊数	R1	784件	173人	13,763冊	増減	△192件	△26人	1,994冊	H30	976件	199人	11,769冊	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書の充実や利用の促進により、広く県民へ福祉関連の情報提供ができた。
年度	福祉図書 貸出件数	新規利用 登録者数	蔵書・資料 総冊数															
R1	784件	173人	13,763冊															
増減	△192件	△26人	1,994冊															
H30	976件	199人	11,769冊															

令和元年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果																																				
4 資金助成による活動支援の推進																																						
(1) 社会福祉振興基金助成事業の効果的な運用																																						
① 申請事業の適正な審査の資金助成による活動支援																																						
<p>ア. 適正な団体選定と審査による的確な活動支援</p>	<p>・社会福祉振興基金原資から生じる果実により、各種民間福祉団体に対する助成(備品整備・大会開催・研修派遣等)を行った。</p> <p>・令和元年度新規助成決定団体を対象に助成金事務説明会を開催した。</p> <p>【令和元年度実施事業助成金交付状況】</p> <p>●一般団体助成</p> <table border="1" data-bbox="435 611 1179 976"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">R1年度</th> <th colspan="2">H30年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉施設の整備事業</td> <td>0事業</td> <td>0千円</td> <td>1事業</td> <td>175千円</td> <td>-1事業 (-175千円)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉施設の環境整備</td> <td>2事業</td> <td>1,151千円</td> <td>2事業</td> <td>680千円</td> <td>±0事業 (+471千円)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉団体等の活動事業</td> <td>21事業</td> <td>6,829千円</td> <td>25事業</td> <td>7,980千円</td> <td>-4事業 (-729千円)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉従事者の研修事業</td> <td>24事業</td> <td>3,686千円</td> <td>23事業</td> <td>3,580千円</td> <td>+1事業 (+106千円)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47事業 (22団体)</td> <td>11,666千円</td> <td>51事業 (25団体)</td> <td>12,415千円</td> <td>-4事業 (-3団体)</td> </tr> </tbody> </table>		R1年度		H30年度		前年度比	社会福祉施設の整備事業	0事業	0千円	1事業	175千円	-1事業 (-175千円)	社会福祉施設の環境整備	2事業	1,151千円	2事業	680千円	±0事業 (+471千円)	社会福祉団体等の活動事業	21事業	6,829千円	25事業	7,980千円	-4事業 (-729千円)	社会福祉従事者の研修事業	24事業	3,686千円	23事業	3,580千円	+1事業 (+106千円)	合計	47事業 (22団体)	11,666千円	51事業 (25団体)	12,415千円	-4事業 (-3団体)	<p>・当年度事業の助成決定団体等に対し随時相談、助言等を行うことにより、円滑な助成金の交付等が行えるよう支援することができた。</p> <p>・令和2年度の一般助成への申請に対し、適正な審査のもと助成先を選定し、次年度の各種事業や活動等の支援につなげることができた。</p>
		R1年度		H30年度		前年度比																																
	社会福祉施設の整備事業	0事業	0千円	1事業	175千円	-1事業 (-175千円)																																
	社会福祉施設の環境整備	2事業	1,151千円	2事業	680千円	±0事業 (+471千円)																																
	社会福祉団体等の活動事業	21事業	6,829千円	25事業	7,980千円	-4事業 (-729千円)																																
社会福祉従事者の研修事業	24事業	3,686千円	23事業	3,580千円	+1事業 (+106千円)																																	
合計	47事業 (22団体)	11,666千円	51事業 (25団体)	12,415千円	-4事業 (-3団体)																																	
<p>・緊急小口助成を行い、福祉団体への活動支援を行った。</p> <p>●緊急・小口助成</p> <table border="1" data-bbox="427 1126 1225 1254"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">R1年度</th> <th colspan="2">H30年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急性を伴う福祉活動事業</td> <td>1事業 (1団体)</td> <td>200千円</td> <td>1事業 (1団体)</td> <td>300千円</td> <td>±0事業 (-100千円)</td> </tr> <tr> <td>自然災害における特別緊急助成事業</td> <td>0事業</td> <td>0円</td> <td>0事業</td> <td>0円</td> <td>±0事業 (±0千円)</td> </tr> </tbody> </table>		R1年度		H30年度		前年度比	緊急性を伴う福祉活動事業	1事業 (1団体)	200千円	1事業 (1団体)	300千円	±0事業 (-100千円)	自然災害における特別緊急助成事業	0事業	0円	0事業	0円	±0事業 (±0千円)																				
	R1年度		H30年度		前年度比																																	
緊急性を伴う福祉活動事業	1事業 (1団体)	200千円	1事業 (1団体)	300千円	±0事業 (-100千円)																																	
自然災害における特別緊急助成事業	0事業	0円	0事業	0円	±0事業 (±0千円)																																	
<p>助成審査委員会を開催し、助成金の必要性等に応じた助成先の選定を行った。</p> <p>【令和2年度実施事業に係る助成金決定状況】</p> <p>●一般団体助成</p> <table border="1" data-bbox="432 1480 861 1762"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉施設の整備事業</td> <td>2事業</td> <td>2,262千円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉施設の環境整備</td> <td>1事業</td> <td>899千円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉団体等の活動事業</td> <td>21事業</td> <td>8,254千円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉従事者の研修事業</td> <td>21事業</td> <td>4,059千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45事業 (22団体)</td> <td>15,474千円</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度		社会福祉施設の整備事業	2事業	2,262千円	社会福祉施設の環境整備	1事業	899千円	社会福祉団体等の活動事業	21事業	8,254千円	社会福祉従事者の研修事業	21事業	4,059千円	合計	45事業 (22団体)	15,474千円																				
	R2年度																																					
社会福祉施設の整備事業	2事業	2,262千円																																				
社会福祉施設の環境整備	1事業	899千円																																				
社会福祉団体等の活動事業	21事業	8,254千円																																				
社会福祉従事者の研修事業	21事業	4,059千円																																				
合計	45事業 (22団体)	15,474千円																																				

令和元年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果																		
② 先駆的開拓的な地域福祉活動モデル事業への活動支援																				
<p>ア. 先駆的開拓的な地域福祉活動モデル事業への活動支援</p>	<p>・社会福祉振興基金原資から生じる果実により、先駆的開拓的な地域活動を実施する団体や日常生活自立支援事業の基幹的社協実施から全市町村型への移行に伴い、基幹的社協に対し助成を行った。また、市町村社協を対象に社会的孤立対策モデル事業の助成を行った。</p>	<p>・地域課題の把握や解決に向けた取り組みを支援した。</p> <p>【地域福祉活動モデル事業】 30・元年度実施事業(助成終了) 「災害時避難行動要配慮者・災害時避難行動要支援者避難支援事業」 ・NPO法人防災サポート沖縄</p> <p>【日常生活自立支援事業 移行支援業務】 元年度実施事業(助成終了)</p> <p>・8市村社協(名護市、恩納村、沖縄市、浦添市、那覇市、豊見城市、宮古島市、石垣市)</p> <p>【日常生活自立支援事業 特別移行措置業務】 元年度実施事業(助成終了)</p> <p>・石垣市社協</p> <p>【社会的孤立対策モデル事業】 30・元・2年度 第3期事業(助成継続)</p> <p>・八重瀬町社協</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>●モデル事業</th> <th colspan="2">R01年度</th> <th colspan="2">H30年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域福祉活動モデル事業</td> <td>10事業 (9団体)</td> <td>8,506千円</td> <td>4事業 (4団体)</td> <td>1,238千円</td> <td>+6事業 (+7,268千円)</td> </tr> <tr> <td>社会的孤立対策モデル事業</td> <td>1事業 (1団体)</td> <td>5,000千円</td> <td>3事業 (3団体)</td> <td>14,739千円</td> <td>-2事業 (-9,738千円)</td> </tr> </tbody> </table>			●モデル事業	R01年度		H30年度		前年度比	地域福祉活動モデル事業	10事業 (9団体)	8,506千円	4事業 (4団体)	1,238千円	+6事業 (+7,268千円)	社会的孤立対策モデル事業	1事業 (1団体)	5,000千円	3事業 (3団体)	14,739千円	-2事業 (-9,738千円)
●モデル事業	R01年度		H30年度		前年度比															
地域福祉活動モデル事業	10事業 (9団体)	8,506千円	4事業 (4団体)	1,238千円	+6事業 (+7,268千円)															
社会的孤立対策モデル事業	1事業 (1団体)	5,000千円	3事業 (3団体)	14,739千円	-2事業 (-9,738千円)															
③ 事業周知の強化と対象団体の掘り起こし																				
<p>ア. 事業周知の強化と対象団体の適切な把握による支援の拡大</p>	<p>・県共同募金会と連携し、「民間福祉資金助成要望」に関する通知を行い、助成金を必要とする団体の把握や対象団体の掘り起こし等に努めた。</p> <p>・広報紙、ホームページ等を活用し助成金の周知を図り、本会助成金の利用促進に努めた。</p> <p>・県内各種助成団体と連携してシンポジウムの開催を計画する等、助成事業のより良い活用に向けて情報交換や本会助成事業の周知を図った。</p> <p>*新型コロナウイルスの影響により中止 【第2回地域づくりのための助成事業活用シンポジウム】 期 日 2月22日 会 場 県総合福祉センター</p>	<p>・社会福祉振興基金に62事業の要望があり、そのうち新規12団体から事業申請を受け付けることができた。</p> <p>・本基金を活用した助成効果を広報紙等を利用して事業の周知啓発を図ることができた。</p> <p>・県内の助成機関と助成金情報や活用状況等について情報交換を行うとともに、連携してホームページを作成し、助成金情報を掲載することで周知啓発を図ることができた。</p>																		

令和元年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
(2) 民間助成に関する情報提供と活用支援		
① 民間助成に関する各種情報提供及びその活用に向けた支援		
ア. 民間助成に関する情報提供及び活用に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に民間団体が行った、助成事業の一覧表を作成し、福祉関係機関へ配布し、周知を図った。 ・県内外の民間団体等が行う助成事業の情報収集・整理を行い、本会ホームページへ掲載したほか、ボランティアマガジンと連動させ多くの方へ情報発信の強化を図った。(57件)。 ・民間団体等の実施する助成事業において、審査や推薦等の協力を行った。 生命保険協会県協会車両等寄贈事業への協力 24時間テレビ車両寄贈事業への協力 一般社団法人松翁会社会福祉助成金申込に係る協力(1団体) ろうきん助成金審査への協力 コープおきなわ助成金審査への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成情報の提供等、助成団体への協力を通して、福祉関係団体の活動支援を行うことができた。(助成決定) 【生命保険協会沖縄県協会】 ・車両1台(南大東村社協) ・物品AED 1台(久米島町社協) ・足踏み型シーラー1台、ラベルプリンター1台、デジタルカメラ1台(障害者支援団体) 【第42回24時間テレビチャリティ募金】 ・リフト付きバス 3団体(一般社団法人アトリエみらい 福祉サービス事業所フロンティア、社会福祉法人ダンス会 特別養護老人ホーム月桃の里、社会福祉法人松原福祉会グループホームつばさ) ・スロープ付き自動車(普通)(一般社団法人ココカラ 児童発達支援事業所アネラ) ・スロープ付き自動車(軽)(久米島町社協)